

WE LOVE ちいも

vol. 17 
 地域医療支援学レター
 2016.10

トークで繋ぐ地域医療 リレートーク relay talk



【第17回】
町立奥出雲病院
病院長 鈴木 賢二 氏

【町立奥出雲病院】
〒699-1511
島根県仁多郡
奥出雲町三成1622-1



あなたが主役です!!

「地域住民・患者様に愛され、信頼され、よろこばれる医療を提供いたします～地域包括医療の実践～」を当院の基本理念とし、人口約13,000人の奥出雲町（高齢化率40%）を中心とした中山間地域を診療圏に、地域医療の推進役として鋭意努力しております。

卒後臨床研修では地域保健・医療研修が必修科目となり、当院のような病院での研修が最も適していると考えています。外来診療はもちろん、入院から手術、そして在宅医療まで患者様を幅広く全体を診ることができ、コンパクトな当院であるからこそ部署毎の連携が良く、ひとりひとりが主役となって活躍できます！

ぜひ神話にまつわる地が多くある奥出雲の地で、町民との交流の中で知識を深めつつ、仁多米などの美味なる数々の名産を堪能し、「地域医療の魅力」を思う存分感じてみませんか!!

SCHEDULE 今後の行事予定：10月～12月

- 10 10/29(土) PM 総合診療ワークショップ
場 所：みらい棟4Fギャラクシー
講 師：島根大学医学部総合医療学講座 木島 庸貴 先生ほか
- 11 11/13(日) 14:00～17:30 第2回若手ジェネラリストFD
場 所：みらい棟4Fギャラクシー
講 師：浜田市国民健康保険 波佐診療所 宮本 雄一 氏
- 12 12/11(金) 18:00～19:30 地域医療セミナー
場 所：地域医療セミナー
講 師：大和村役場 小川 信 氏

10月・11月の地域医療セミナー、10月～12月のランチョンセミナーについては詳細が決まり次第、facebook・HPでお知らせいたします。お楽しみに！

～絆づくりは交流から～

地域医療支援学講座では、地域枠等の学生とその市町村との交流支援を行っています。その取り組みの一環として、市町村へ地域枠等学生との交流会についてのアンケートを行いました。今回は対象学生がいるかないかで実施の内容が変化してきています。卒業し、研修医となっても学生時代と同様に交流の機会を持ち、更に絆を深めて頂きたいと思っております。

平成28年度 地域枠推薦入学等の学生との交流に関するアンケート

	美郷町	隠岐の島町	安来市	津和野町	吉賀町	邑南町	益田市	江津市	大田市	浜田市	奥出雲町	川本町	雲南市	飯南町
①大学の地域交流サロンを利用した交流会（昼食会・夕食会等）					●									
②大学の地域医療交流サロンを利用後、出雲市内においての交流会														
③出雲市内においての交流会	●	●◎				●◎	●◎		●◎	●◎		●◎	●◎	
④出身の地元においての交流会	●			●							●◎			●
⑤医師・看護師等への進学合格時のお祝い会						◎	●◎	●◎	●◎	●◎				
⑥地域医療実習時交流会				●◎					●◎			●		
⑦クリスマスカード・年賀状等へのメッセージカード・広報誌等の送付			●			●			●	●◎			●	
⑧お盆・正月等帰省時の交流							●			●				
⑨地域のイベント開催時の交流								●◎						
⑩病院祭に招待									●				●	
⑪市町村の広報誌等へ学生のメッセージを掲載				●					●					
⑫ケーブルテレビ等への出演依頼									●					
⑬シンポジウムへの招待						◎							●	
⑭小・中・高校生への講演依頼									●◎					
⑮その他の企画名	●			●	●		◎		●	◎			●	◎

(平成28年7月末現在)



夏季地域医療実習意見交換会を開催しました。

活動報告/地域医療支援学講座の主な取り組み報告
 【リレートーク第17回】 町立奥出雲病院 病院長 鈴木 賢二 氏

編集後記
 昼夜の気温差が激しい時期になり、庭の金木犀の香りが感じられるようになりました。皆様、お身体をご自愛いただき、元気にお過ごしください。

平成28年度 夏季地域医療実習報告会を開催しました。

【日 時】8月19日(金) 14:30~16:30
【場 所】島根大学医学部講義棟1F 国際交流ラウンジ
【参加者】学生25名 その他14名
【概 要】

8月16日から8月19日の間(隠岐島前のみ24日~26日)、地域の皆様のご協力のもと夏季地域医療実習が行われ、8月19日に報告会が開催されました。今回の報告会も前回に引き続き、実習参加者が交流を深めることを目的とし、ワールドカフェ形式の報告会にしました。

内容は、ワールドカフェ方式で「実習で印象に残った体験は？」「島根の地域医療の良いところ・課題は？」「島根の地域医



療の改善策は？」の3点を話し合いました。学生さんからは、医師不足に対し、行政や住民の努力も必要、地域の魅力のアピールが必要、コメディカルの方をもっと生かすべきだなど、かなり具体的な話も出た他、地域医療実習で地域の魅力に気付けたのでとてもいい体験だったというような話も聞け、当講座としても嬉しい限りでした。



9/11 総合診療医専門医プログラム説明会を開催しました。

地域医療支援学講座では総合診療医育成ネットワーク事業の事務局になっています。この取り組みの一環で総合診療専門医プログラム説明会を開催しました。

【日 時】9月11日(日) 12:00~12:40
【場 所】島根大学医学部講義棟1F 国際交流ラウンジ
【講 師】前野 哲博氏(筑波大学 地域医療学 教授)
【概 要】

第1部の講演会、第2部の総合診療専門医プログラムを持つ各病院の説明に分けて行いました。第1部の講演会では前野先生にご講演いただきました。その中で総合診療専門医の重要性についてわかりやすくご説明頂きその重要性を再認識し、また新専門医制度の問題点がどこかなどの背景等をとても分かりやすくお話し頂きました。第2部は総合診療医育成ネットワークの8つの総合専門医プログラムの説明を各病院のブース前で行っていただきました。

どのプログラムも各病院の先生方の思いが詰まったものになっており、どれを選択しても間違いなく総合診療専門医プログラムとして素晴らしいものでした。



7/9

ブラッシュアップ講習会 in 浜田を参加しました。

【日 時】7月9日(土) 14:00~17:30
【場 所】浜田医療センター
【講 師】齊藤 裕之氏(山口大学医学部附属病院総合診療部)

【概 要】
ブラッシュアップ講習会in浜田を開催しました。益田・浜田の後期研修医の先生方をはじめとして多くの先生方にご参加いただきました。

前半のカンファレンスでは「失神」と「意識障害」について熱い熱いカンファレンスを行い、後半は齊藤先生の萩市民病院での、総合診療科を設置することを目的とした医療維新の取り組みについて語っていただきました。

従来通りの「医療が終わった患者を下に向けて流していく」のではなく、「多職種との連携・地域の他医療機関との連携を大切にしていこう」ということで、協力し合う関係性を作り、自分がいなくても継続していける医療体系を形成し、今もまた続けていることをお伝えいただきました。



地域枠等全学年会交流会を開催しました。

【日 時】9月16日(金) 19:00~21:00
【場 所】ラビタウェディングパレス
【参加者】60名(学生46名、後期研修医2名、その他12名)
【概 要】

地域枠等の全学年が集まる地域枠等全学年会交流会を開催しました。去年に引き続き、今年度も6年生主催で行いました。司会や会途中の席替え等6年生有志によって企画され、より一層盛り上がる会となりました。今年は卒業生である後期研修医の参加もあり、地域枠等学生のみならず、卒業生との交流も深まったように感じました。学生からは、「来年も絶対続けたい」「地域枠の先輩

に聞きたい事を聞く機会になった」「初期研修医の先生とも話してみたい」などといった声が聞かれました。



地域医療セミナー

7/8

【日 時】7月8日(金) 18:00~19:30
【場 所】島根大学医学部みらい棟4Fギャラクシー
【講 師】小早川義貴 医師(国立病院機構災害医療センター)
【テーマ】災害医療と地域医療
~いざという時の医療で大事なこと~

【概 要】
日本では数少ない災害医療専従医として活躍中の小早川医師。2011年に起こった東日本大震災を経て災害医療の道へと進み、今も福島で災害医療にお取り組みでいらっしゃいます。災害医療で求められるものやDMATの意義、なぜ災害医療が今の体制になったのかを阪神淡路大震災での教訓を元にわかりやすくお教えいただきました。

学生からは「災害での間接死が直接死を超えるということに驚いた」や「災害医療は災害が起こった瞬間だけでないということが印象に残った」という声が聞かれました。



9/15

【日 時】9月15日(木) 18:00~19:30
【場 所】島根大学医学部みらい棟4Fギャラクシー
【講 師】江田 芳美氏(江田クリニック 産婦人科 院長)
【テーマ】地域医療と産婦人科 ~現状と課題~
【概 要】

女性産婦人科医として出雲市で唯一開業されている江田先生。日本の現状を踏まえ、島根県での具体的な数字を基に、医師だけでなく行政がどう関わっていくと良いか等わかりやすくお教えいただきました。

キャリアの積み方、診療科の選択についても「損か損じゃないか・楽か楽じゃないかではなく、自分がその時にどんな技術を持って頑張れるか、その感覚が大事だ」とお話しいただきました。

学生からは「産婦人科医もこれからの進路の選択肢としてももっと勉強していきたい」との感想が聞かれました。



ランチョンセミナー

~自分のキャリアプログラムから学生さんに伝えたい事~

7/14

【日 時】7月14日(木) 12:00~12:40
【場 所】島根大学医学部みらい棟2F共通カンファレンス
【講 師】本田 聡氏
(総合医療学講座 大田総合医育成センター 外科系准教授)

【概 要】
地域医療を行う上で地域の方々に関わり、つながりを持つ大切さをお伝えいただきました。

学生さんからは「学生の時の話や、医師になってからの話を通じて、地域の医師になるためにどうしたらいいのかを具体的に説明していただき、今後の国試勉強・地域医療実習への取り組み方を考える良い機会となりました」との声も聞かれました。



9/28

【日 時】9月28日(水) 12:00~12:40
【場 所】島根大学医学部みらい棟2F共通カンファレンス
【講 師】折出 亜希氏(産科婦人科講座 学内講師)
【概 要】

受精卵が細胞分裂していく神秘的で不思議な様子に魅せられ、産科・婦人科を選択したとお話しいただきました。また学生さんに向けたメッセージでは「自分の興味のあることを見つけて、それに関わるような仕事をできるのが一番良い。それを見つけるためには、勉強をすること・様々な経験をすることが大事。その中でもしも産科・婦人科へ興味を持ってもらえたらうれしいです」とお伝えいただきました。学生さんからは、「様々なことに興味を持って、自分にとって関心があることを見つけていきたい」、「将来、どの科へ進むか迷ったときに先生の言葉を思い出そうと思います」との声が聞かれました。



7/9 地域医療を守る会住民活動連絡会 in 隠岐大会に参加しました。

【日 時】7月9日(土) 13:00~17:00
【場 所】隠岐病院
【概 要】

地域医療を守る住民活動連絡会in隠岐大会を「隠岐病院絵画ボランティア」・「離島」隠岐の医療を考える」の2団体主催で開催いただきました。会場内は一般の市民の参加も含め、50人以上の来場があり、準備されていた椅子が足りないほどの盛況ぶりでした。来年度は雲南地域での開催が決定しています。

